

「転換期」を乗り越えるために

議長 古田 聖人



あけましておめでとうございます。

新春を迎えるにあたり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素より町政並びに町議会に対して、格別のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成30年はどんな年になるのでしょうか。カレンダーを眺めると、東京オリンピックまで1000日を切り、天皇陛下のご退位の意向に伴い「平成の世」も残すところ1年余となりました。日本は、これから時代の「転換期」を迎えようとしています。

一方で、地方を取り巻く環境は、厳しさを増しています。笠松町においても次世代に向けて取り組まなくてはならない課題が山積みです。

- 巨大地震など災害に備えた防災力の強化
- 人口減少に歯止めをかけるための定住促進策
- 高齢者の方々に安心と安らぎを与える福祉の充実
- 老朽化した公共インフラへの対応
- 長期的展望に立った子育て支援と学校施設の整備
- 財政力を向上させるための地域産業の振興

こうした取り組みの際に忘れてはならないのは、

「転換期」には、常識や価値観が大きく変わるということです。これまでうまくいっていた考え方や方法が通用しなくなるケースも出てくるでしょう。想定外の事態に遭遇するかもしれません。地域も人も変化に適応し、進化しなければ、停滞どころか、衰退の途をたどる恐れがあります。

笠松町が「転換期」を乗り越え、さらなる発展を目指すには、あらゆる分野において斬新な発想と若い力が必要です。先人たちが積み上げた経験と実績を礎にしながら挑戦を繰り返していく。その先にこそ、明るい未来が待っていると信じています。

議会としては、諸問題の解決に向けて政策論議を深めていくだけでなく、だれもがまちづくりに参加できる仕組みと環境づくりにも挑戦していきたいと考えています。そして、この挑戦は、多くの町民の皆様の知恵と協力がなくては成し遂げることはできません。笠松町の未来のためにともに頑張りましょう。

本年も議会活動への一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また町民の皆様にとって平成30年が素晴らしい1年になりますよう心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成30年 笠松町議会